

日本アーカイブズ学会 2026 年度大会

2026
4/18(土)

総会
大会講演会

4/19(日)

自由論題研究発表会
大会企画研究会

会場 筑波大学 春日エリア 情報メディアユニオン (茨城県つくば市春日1-2)

参加費 会員 500 円 / 非会員 1000 円

開催方法 ハイブリッド形式 (対面・オンライン併用)
*事前申込制

参加申込みは下記 Google フォームより
・登録必切 4月15日(水)
・懇親会必切 4月11日(土)



1日目
4/18

15:30 ~ 16:50 情報メディアユニオン1階101講義室

大会講演会

政治資料のアーカイブとは？——政党・国会・メディア 牧原 出 (東京大学先端科学技術研究センター教授)

1990年東京大学法学部卒業。東北大学法学部助教授、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス客員研究員、東北大学大学院法学研究科教授を経て、2013年4月より現職。著書に、『内閣政治と「大蔵省支配」』(中央公論新社)、『「安倍一強」の謎』(朝日新聞出版)、『崩れる政治を立て直す』(講談社)、『田中耕太郎』(中央公論新社)等。共編著に『聞き書 野中広務回顧録』(岩波書店)、『日本政治史講義 通史と対話』(有斐閣)、『きしむ政治と科学 コロナ禍尾身茂氏との対話』(中央公論新社)等。



2日目
4/19

14:00 ~ 17:00 情報メディアユニオン1階101講義室

大会企画研究会

議会政治とアーカイブズ

報告	手塚 雄太 (國學院大学)	立法資料の再検討
	原口 大輔 (九州大学)	議会政治史研究における「私文書」
	奈良岡聡智 (京都大学)	イギリスの議会文書館・政党文書館の概要 —日本との比較を念頭に

常設

1日目 13:00 ~ 17:00
2日目 9:30 ~ 15:30 (コアタイム 13:00 ~ 13:45)

2階メディアホール前 (予定)

ポスター発表

谷合佳代子・
下久保恵子・
宮田有香 AtOM 実装に向けた記述規則策定の試み—RiC の概念を参照して—

鳥海 空雅 研究者個人による民間資料調査の実践と課題—唐津小笠原家当主所蔵資料を事例に—

伊藤 匠 石巻市博物館収蔵品データベースの構築と運用について

SIG フォーラム

賛助会員出展

自由論題研究発表会

第1会場 情報メディアユニオン2階メディアホール

- 9:30 ~ 9:35 趣旨説明
- 9:35 ~ 10:05 バールイシェフ・エドワルド 政治とアーカイブズ：ロシア在外歴史文書館（RZIA）の組織と活動を事例に（1923～1945年）
- 10:05 ~ 10:40 島山 希望
白井 哲哉 大学サークルアーカイブズの内容と構造—筑波大学邦楽部を事例に—
- 10:40 ~ 11:10 宮本 愛 アーカイブズ資料としての点字記録の認識に関する一考察
：千葉県文書館所蔵資料を中心に
- 11:10 ~ 11:40 芳澤 直之 明治・大正期の御手許資料群における構造分析
—文書類と写真類の統合目録化に向けて—
- 11:45 ~ 12:15 松村光希子 参議院所蔵「憲政資料」の構造分析
—貴族院彙報・同附録を手掛かりに—
- 12:15 ~ 12:45 高山 征季 北米におけるアーカイブズ資料の再評価・再選別について
—SAAのガイドラインを事例として—

第2会場 情報メディアユニオン1階101講義室

- 9:30 ~ 9:35 趣旨説明
- 9:35 ~ 10:05 金 甫榮 OAIS 参照モデルに基づくデジタル資料のアーカイブ
—情報パッケージ作成における重要課題と解決策について—
- 10:05 ~ 10:35 元 ナミ 国際的概念枠組みに基づく電子記録保存体制の比較
—ヨーロッパにおける事例を中心に—
- 10:40 ~ 11:10 川田 恭子
(共同報告者：花
王株式会社 富士
章・三井友毅) 企業資料の資源化に関する一考察
—アーカイブズ資料とAIの連携をめざして
- 11:10 ~ 11:40 小澤 梓
阿久津美紀
元 ナミ
逢坂裕紀子
橋本 陽
平野 泉
堀内 暢行 AI 利用が自治体の公文書にもたらす影響についての調査
：文書作成課及びアーキビストへのインタビュー
- 11:45 ~ 12:15 橋本陽
阿久津美紀
元ナミ
逢坂裕紀子
扨素妍
堀内暢行 AI 時代における鑑定のための成熟度査定の実践

【問合せ先】

日本アーカイブズ学会事務局

E-mail:office★jsas.info (★を@に変更してください)